

原 知之 先生 プロフィール

分野	景観事例紹介
現職名	陶舗やまわ 代表取締役 川越町並み委員会（川越市都市景観推進団体） 委員長 NPO法人川越蔵の会（歴史的風致維持向上支援法人） 相談役 川越一番街商業協同組合 監事 川越市歴史的風致維持向上協議会 委員 川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会 委員
アドバイス できる分野	川越町並み委員会による景観保全活動の事例紹介
経歴等	（昭和31年）川越市生まれ （平成13年）川越蔵の会4代目会長に就任 （平成14年）川越蔵の会をNPO法人化し、NPO法人川越蔵の会代表理事となる （平成17年）蔵の会が第48回埼玉文化賞 社会文化部門受賞（埼玉新聞社制定） （平成18年）川越一番街商業協同組合の理事長に就任（任期平成20年3月末） （平成19年）経済産業省の中小企業サポーターに就任（任期平成20年8月末） （平成21年）蔵の会が社団法人小江戸川越観光協会より功労者賞を受賞 （平成22年）蔵の会が地域づくり総務大臣表彰団体賞受賞 （平成29年）川越町並み委員会委員長に就任 川越町並み委員会が総務大臣表彰受賞
活動実績	川越町並み委員会は、昭和62年に一番街商店街の下部組織として発足し、平成21年に伝統的建造物群保存地区の住民等により保存団体として改組されました。毎月1回、委員会を開催しています。川越市と協働し、地域の特性に応じた良好な都市景観形成のための調査研究や住民の理解を深めるための啓発活動、建築行為等の申請者への助言などを行っています。
ホームページ	川越蔵の会 http://www.kuranokai.org/
先生から一言	伝統的建造物群保存地区の蔵造りの商家で生まれ育ちました。商店主、川越蔵の会会長、町並み委員会委員長として町づくりに携わってまいりました。川越一番街の昭和30年代までの隆盛期、その後の没落期、そして歴史的景観を生かした町づくりに取り組むことにより復活した町の変遷を紹介させていただきます。